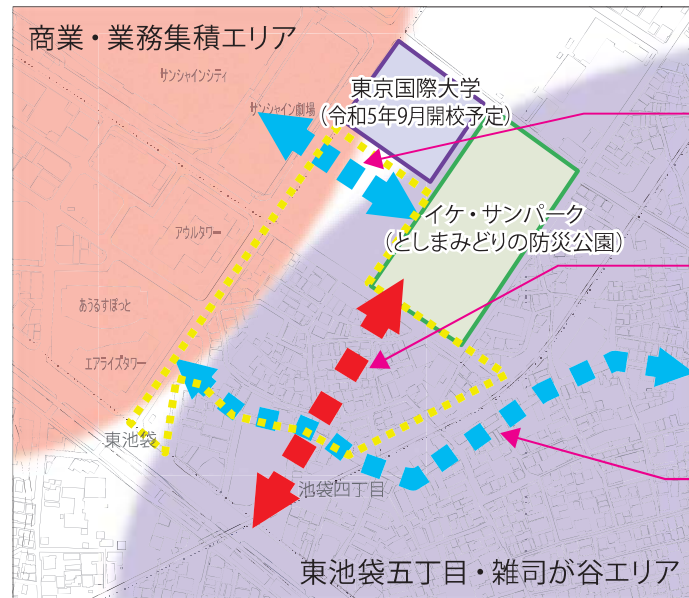


【造幣局南地区 まちづくり基本計画】 まちづくりの考え方

まちづくりの考え方



商業・業務集積エリアとの
接続を強化する動線

駅と防災公園、
防災公園と地区周辺を結ぶ動線

歩行環境を向上させる動線

基本方針

- 災害に強いまちづくりを行うため、一定規模の面的な市街地更新を行う
- 高低差のある地形を活かし、高層と中低層建物が調和した魅力的な街並みをつくる
- 主な動線では、沿道施設やオープンスペースを一体的に整備し、快適な歩行空間を創出する
- 居住者や地域を訪れた人が、くつろぎ・交流・活動する空間を創出する
(誰でも気軽に利用できるパブリックな空間、居住者が交流するプライベートな空間など、様々な利用者や使われ方を想定した、性格の異なる魅力的な空間を創出)

配置の考え方

- 周りの地域とのつながりと調和を大切にして、高層建物エリアを西側に、中低層建物エリアを東側に配置
- 東池袋駅と防災公園をつなぐ南北の骨格動線と、地域をつなぐ東西の交流動線を配置
- 法定事業などにより、地区全体を更地にした上で、建物や街路の再整備を行うことが前提

エリアの考え方

①高層建物エリア

- 利便性が高く、落ち着いた住環境
- 空地や屋上を活用し、新旧居住者が快適に利用できる歩行者空間や広場などを創出
- 街区外周の低層部は、地区周辺来街者の受入れも想定した商業施設等を配置

②中低層建物エリア

- 東池袋五丁目とのつながりに配慮し、木造密集地域の改善モデルとなる魅力的で落ち着きある住環境
- 補助81号線沿道は、街区内外のつながりにも配慮しながら、延焼遮断帯の形成に資する中高層の耐火建築物を配置

動線の考え方

③東池袋駅と防災公園をつなぐ骨格動線

- 道路と緑地を一体的に配置
- 沿道の1階部分には、地区周辺来街者の受入れも想定した商業施設等を配置

④地域をつなぐ交流動線

- 商店街や水窪川跡を活かしながら、高層建物エリアと中低層建物エリアを東西につなぎ、新旧居住者の交流を促す

③・④共通

- 通過交通を極力排除し、快適な歩行空間を形成(車が通り抜けにくい道路線形)
- 緊急車両の進入が可能な幅員を確保(道路幅員6m以上、無電柱化)
- 災害時は緊急避難路、避難場所として機能



※エリアの範囲及び道路線形は、イメージであり、確定したものではありません。